

阿蘇大橋地区復旧技術検討会(第2回)

<議事要旨>

開催日:平成 28 年 7 月 12 日

- 今回の検討会で提示された斜面観測機器の追加提案は了承。全体の動きを監視しながら進めることが必要。
- 崩壊の発生機構については、地質調査が終わっていない段階で崩壊の発生機構を特定するのはまだ早い。全ての地質調査結果を踏まえて検討を進めていくこと。
- 「不安定土砂の評価」は提案通りで妥当。
“滑落崖周辺”の対策を「特に緊急性が高い」としたことは評価できる。
6月20日の降雨で観測機器に顕著な動きが確認されたブロックについては、他の経過観察のブロックよりも注意が必要。
- 「当面の目標」及び「有人施工着手のための対策」については、提案の手順のとおりで妥当。今後も斜面の観測データをよく見て進めていくこと。
- 不安定土砂の排土計画について、「第1段階施工」の滑落崖のラウンディング等の提案は妥当。